



# 2019年 タカの渡り調査報告

担当 田川 亨

一斉調査は9月21、22、28、29日の4日間でしたが、21日、28日（の一部）は雨に降られ調査出来ませんでした。また任意調査頂き大変ありがとうございました。タカの渡りメインルートと思われる、南越前町と滋賀県余呉間の稜線に55機もの風力発電建設計画が持ち上がり、鉢伏山での調査を復活しました。早く始めた鉢伏山で9月14日ハチクマ326羽を観察しました！ 22日の探鳥会では、どの定点も昨年に比べ少ないながらもタカの渡りを観察する事が出来ました。以下、集計表と合わせてご覧ください。

刈安山（あわら市権世市野々）				548m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月21日				雨天中止
9月22日	19	0	0	19
9月25日	0	0	0	0
9月28日	0	0	0	0
9月29日	20	1	7	28
合計	39	1	7	47
大仏林道A（福井市宇坂大谷町）				320m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月21日				雨天中止
9月22日	2	6	0	8
9月25日	1	4	0	5
9月27日	0	0	0	0
9月28日	0	1	2	3
9月29日	0	0	0	0
10月5日	3	2	0	5
合計	6	13	2	21
大仏林道B（福井市美山大谷町）				700m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月16日	0	0	0	0
9月21日				雨天中止
9月22日	1	1	3	5
9月25日	0	1	0	1
9月26日	0	1	0	1
9月28日	0	0	0	0
9月29日	0	0	0	0
10月1日	0	0	0	0
合計	1	3	3	7

刈安山：望遠鏡で遠方のタカを探すが出が悪く、29日東の山中温泉辺りで上昇し国道364号沿いに南下するタカは、旧丸岡町竹田方向へ飛去か？また定点南の稜線を低空で越えるタカは剣ヶ岳山方向に飛去。周辺の樹々が高くなり飛去方向がとらえ辛い。（刈安山からを迎える）大仏林道A：（勝山を望む）大仏林道B：刈安山での数が少ないのが影響したのか？例年に比べ出が悪い。29日刈安山で出ている（表参照）が一羽も出ず。ルートが変わったのか？風向きが悪かったのか？任意調査を含め大仏林道A・B共、不調に終わる。

冠山（今立郡池田町）				1037m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月14日	0	0	0	0
9月15日	0	0	0	0
9月16日	0	0	0	0
9月17日	0	0	0	0
9月18日	0	0	0	0
9月19日	0	0	0	0
9月20日	0	0	0	0
9月21日				雨天中止
9月22日	0	0	0	0
9月23日	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
部子山（今立郡池田町と大野市境界）				1464m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月21日				雨天中止
9月22日	0	0	0	0
9月23日	4	4	2	10
9月28日				雲中調査出来ず
9月29日				雲中調査出来ず
合計	0	0	0	0
花立峠（丹生郡越前町）				580m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月29日	0	0	1	1

部子山：23日山頂（1464m）で、埴（ねぐら）立ちと思われるタカが眼下から目線の高さまで上昇し南西に飛去。22日山頂は雲の中、視界が確保できる少し下の牧場で調査するも一羽も飛ばず！こんな事は初めてとの事。精力的にルート探査で冠山に何度も通うYさんだが此方も一羽も飛ばず。（後日、岐阜金華山で調査されているメンバーから過去の複数回調査で秋の渡りを確認できなかった事が判る。春には少数渡るとか）その後、花立峠、牧谷峠、ホノケ山と来期に向け移動調査を繰り返し、ホノケ山で短時間だがタカの渡りを観察でき来期に望みを繋ぐ。

矢良巢岳 (越前市下別所町)				440m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月21日				雨天中止
9月22日	0	1	0	1
9月24日	0	0	0	0
9月25日	24	24	7	55
9月27日	18	25	13	56
9月28日	5	6	1	12
9月29日	7	20	6	33
10月1日	5	4	1	10
合計	59	80	28	167
鉢伏山365スキー場駐車場(南越前町板取)				425m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月14日	7	326	5	338
9月15日	2	53	0	55
9月16日	118	0	0	118
9月20日	3	6	3	12
9月22日	1	38	7	46
9月25日	6	145	2	153
9月26日	24	102	8	134
9月27日	13	67	8	88
9月28日	5	13	2	20
9月29日	5	6	10	21
合計	184	756	45	985

矢良巢岳：正面に海を眺め調査する中、丹生山地を渡って来たのか定点後方頭上から出るタカ。今年は海岸線近くからの上昇が多く、谷筋からも上昇し敦賀湾内に向い、一部は海を渡って行く。27日は午前中だけで56羽の渡りを観察。一日居たら更に多くのタカを観察出来たかも知れないとの事。鉢伏山：今年はハチクマの渡りルートにピタリと一致した。何と9月14日ハチクマ326羽を観察！この日、約50km東北東の奥越地区で約100羽の観察情報が有り、このハチクマが渡って来たのか？12日～29日の間に、何とハチクマ756羽観察（集計表参照）秋の渡り県内最多更新では無いだろうか。何年分ものハチクマを見たとの事で、次から次と出て来るハチクマを漏れなくカウントするのは大変だが嬉しい悲鳴、電話の音が弾んでいる。矢良巢から海側稜線を越え、定点通過後は鉢伏山ピーク（762m）を越えて行く。また国道365号線を南下するタカは、55機もの風力発電機が立ち並ぶ計画予定地へ向う。天筒山：14日鉢伏山のハチクマ326羽は来ず。遠い東の山並みを南へ流れるタカ、鉢伏山西の沿岸上空でタカ柱ができ西へ移動しながら消えて行く。帰路、西の奥本保で出ているだろうと想像する。天筒山は9月1日か

ら10月31日まで継続調査しており（いつでもお待ちしております。）8日に118羽のタカを観察（表参照）、例年よりもタカの動きが早い。最大のピークは矢良巢、鉢伏山と共に25.26.27日だった。中郷：天筒山を見上げる南に3kmの定点。天筒山からの無線連絡で中池見上空や、敦賀IC上空のタカ柱を確認。国道8号バイパス上空や山並みに南へ飛去するタカ、新たに山際から出て来るタカを追認。



天筒山 (敦賀市天筒町)				172m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月8日	132	13	4	149
9月9日	20	10	5	35
9月10日	40	7	10	57
9月11日	0	0	0	0
9月12日	3	2	3	8
9月13日				雨天中止
9月14日	16	83	19	118
9月15日	44	11	15	70
9月16日	0	0	0	0
9月17日	2	5	5	12
9月18日	9	32	9	50
9月19日	7	2	12	21
9月20日	24	4	10	38
9月21日	0	0	0	0
9月22日	4	26	21	51
9月23日	1	6	1	8
9月24日				雨天中止
9月25日	121	110	66	297
9月26日	137	75	30	242
9月27日	72	51	51	174
9月28日	1	3	26	30
9月29日	40	2	24	66
9月30日	50	4	21	75
10月1日	228	1	40	269
合計	951	447	372	1770
中郷P (敦賀市中郷町)				12m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月19日	1	0	1	2
9月20日	0	2	0	2
9月21日				雨天中止
9月26日	29	36	3	68
9月29日	26	0	2	28
10月1日	293	3	16	312
合計	349	41	22	412

奥本保 (小浜市 広域林道若狭線)				292m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月10日	2	14	0	16
9月14日	0	150	0	150
9月15日	10	4	5	19
9月20日	2	6	3	11
9月21日				雨天中止
9月27日	3	54	3	60
9月28日	0	12	0	12
9月29日	7	1	6	14
10月1日	0	2	7	9
合計	24	243	24	291
河内の森 (若狭町河内)				510m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月14日	5	18	1	24
9月15日	1	22	0	23
父子 (おおい町父子)				350m
月日	サシバ	ハチクマ	他	合計
9月7日	1	4	2	7
9月8日	2	5	0	7
9月9日	0	0	2	2
9月12日	0	0	1	1
9月15日	8	1	3	12
9月16日	0	0	0	0
9月17日	0	0	0	0
9月18日	1	0	0	1
9月21日				雨天中止
9月22日	0	4	0	4
9月23日	2	3	0	5
9月25日	0	0	0	0
9月26日	0	0	5	5
9月27日	1	97	8	106
9月28日	2	37	10	49
合計	17	151	31	199

**奥本保**：14日高空を通過するハチクマを（非会員が）約150羽観察、鉢伏山で出たハチクマは、やはり嶺南西部へ流れた様だ。27日上流の鉢伏山67、天筒山51で出たハチクマ54羽を観察。**河内の森**：河内川沿いに渡って来たのか、熊川と河内川間の稜線から旋回上昇して上空を渡って行く。**父子**：27日南川沿いに渡って来たのか、父子東の山添から上昇するハチクマ97羽を観察する。14、27日共に、風力3の南寄りの風で「南の風は嶺南西部への渡り」を裏付ける。

**来期に向けて**：嶺北の各定点で少ない中、矢良巢以降が多く出たタカは丹生山地経由？その前は何処から来たのだろうか？これとは別に鉢伏山に飛来した山側ルート解明も待たれるが、範囲が広くなり難しい。嶺北のルートが変わったとすると定点は何処が良いのか？過去に九頭竜湖で多くのタカが確認された奥越方面に定点追加？鉢伏山以東の新定点も望まれるが、広い視界を確保できる定点が中々見つからない。天気、風向き、風力等複雑な要因が絡みルートは日毎に変わるタカの渡り。何処も調査員不足、限られた人員での調査は難しいが地道な調査継続が必要。今後とも宜しくお願いしたい。

**おまけ**：9月25日矢良巢で確認したコウノトリを天筒山で追認した。

**調査員**（調査表記載の方）赤間善男、井尻雅己、大塚育恵、大塚宗是、大宮正太郎、大西五十二、鈴川文夫、鈴木健蔵、鈴木不二子、田原伸吾、中條俊彦、中條富美子、土田孝幸、平城常雄、丸山清司、矢部正美、矢部芳子、吉田麻里子、宇野秀夫、横山大八、山根眞一、酒井敬治、小嶋明男、瀬戸靖夫、組頭五十夫、村上公輝、村上千夏子、長谷川祐一、渡利千代美、藤本尚子、武田真澄美、堀孝敏、柳町邦光、牧田、越野、蒔田憲三、赤星昇、高谷浩一、橋崎健次、麻畑、山崎、吉田さゆり、酒井夫婦（野鳥の会石川県）、平野（野鳥の会石川県）、田川亨

